

平成 31 年 3 月

## 南伊豆町教育委員会議事録

日 時	平成 31 年 3 月 22 日 (金)	13 時 27 分から 15 時 02 分
場 所	南伊豆町役場 3 階	会議室
出席委員	教 育 長	佐 野 薫
	教育長職務代理者	下 村 和 雄
	委 員	白 井 善 吾
	委 員	萩 原 利 恵 子
	委 員	井 上 誠 也
説明出席者	事 務 局 長	大 野 孝 行
	学 校 教 育 係 長	白 井 秀 治
	社 会 教 育 係 長	渡 邊 信 枝

### 1 開 会

大野事務局長 開会のあいさつをのべる。

### 2 教育長挨拶

佐野教育長 あいさつを述べて、署名人に井上氏・佐野氏・大野の 3 名を指名する。

### 3 教育長報告

佐野教育長 (資料を使って説明)

#### 1 経過報告

- (1) 定例議会開催 2/26～2/27、3/4～3/5 (委員会)、3/15
- (2) 教職員人事評価提出 2/28
- (3) 東部地区市町教育長会
- (4) 臨時校長会 3/4
- (5) 町校長会 3/8
- (6) 南伊豆町芸能部門発表会 3/10
  - ・ 南伊豆中有志 (ソーラン節、合唱)
  - ・ 南東中有志 (ヒップホップ)

※ 小中学校卒業式 3/20

2 平成 30 年度末 教職員人事異動について

(1) 2 月定例会にて 2 次案提示済み 2/21→3/1 内申受領〈前掲〉

(2) 臨時校長会 3/4→内々示 3/4→内示 3/13→新聞発表 3/20?

※ 指導主事からの昇任：長友信也指導主事 → 稲梓中教頭へ

3 平成 30 年度末 町職員人事異動について

(1) 3/19 内示

4 機構改革

(1) 指導主事の共同設置〈 幹事町：南伊豆町 〉 ※賀茂地区指導主事の選任  
新任指導主事： 谷 哲也 先生（河津・東伊豆担当）

(2) 幼児教育アドバイザーの共同設置〈 幹事町：東伊豆町 〉  
土屋幸子先生（1 市 5 町の保育園・幼稚園・認定こども園担当）

5 学校教育関係

- ・ 高校受験
- ・ 中学校エアコン設置
- ・ 南上小体育館軒修繕
- ・ 南中小体育館修繕
- ・ 南上小児童微増

6 社会教育関係

- ・ 宮前テニスコートについて

7 その他(今後の主な日程)

- (1) 新採説明会 3/26
- (2) 新任校長等任命式 30 年度からなし。
- (3) 仮赴任 3/27
- (4) 町離任式 3/29
- (5) 町辞令交付式・町長訓示 4/1
- (6) 4 月 5 日 全小中学校入学式
- (7) 県市町教育長会 4/9 静岡市
- (8) 県町教育長会総会・研修大会 4/18～19 休暇村南伊豆
- (9) スクールサポートスタッフ等について

事務局長 質問はないか。

〈 特になし 〉

事務局長            それでは、教育長報告はこれで終了し、議事に入る。  
議事進行を教育長に依頼する。

#### 4 議 事

佐野教育長        (1) 準要保護の認定について、事務局に説明を求める。

白井係長            資料に基づき説明をする。  
H31年度 継続案件 3件

佐野教育長        3案件とも可ということによろしいか。

全委員              了承する。

佐野教育長        (2) 教育委員会例規の改正等について、事務局に説明を求める。

白井係長            学校教育係所管の例規につき資料に基づき説明（大半は元号変更に伴う  
様式等の平成の削除）

下村委員            新たな元号が決定した際は、ここに元号を入れるのか。

白井係長            ここには入れない。手書きにて対応する。

渡邊係長            社会教育係所管の例規につき資料に基づき説明（町史編さん委員任期  
の変更等、元号変更に伴う様式等の平成削除、例規の廃止）

佐野教育長        例規の改正等については承認ということによろしいか。

全委員              了承する。

佐藤委員長        (3) 賀茂地区指導主事の選任について、事務局に説明を求める。

事務局長            資料により、基づき説明

佐野教育長        賀茂地区指導主事の選任については承認ということによろしいか。

全委員              了承する。

- 佐野教育長 議事は終了。進行を事務局へ返還
- 事務局長 中学校統合アンケート結果について、白井係長に説明させる。
- 白井係長 資料に基づき説明  
区分 すべての小学生の集計、全ての中学生の集計、すべての保護者の集計  
問4、問10、あたりがポイントか。  
70 ページ以降は「その他」の記述、自由記載欄の内容  
アンケート結果はアンケート協力者にお知らせしなければならないと考えている。
- 白井委員 保護者ではなく一般人にアンケートを取ったらどんな感じになるのか。
- 事務局長 感傷的な考えで地域に学校を残したいという意見が多く出てくるのではないか。
- 下村委員 自由記載のところの文書を読むと、それなりに本質的な部分をついているものもある。
- 事務局長 今後、生徒が減るということは先生の数も減るということ。そうなったときに現在の教育のレベル、手厚さが担保されるのかという疑問も出てくる。そこまで考慮して統合は考える必要がある。
- 下村委員 部活にしても、統合直後はそれなりの人数が確保できるが、数年経過すると今の1校くらいの人数規模になってしまう。
- 佐野教育長 統合したいという意味あいには、1校ではやっていけない人数になっていくから統合するのであって、それは現状の教育レベルを維持するためにするという事に繋がる。
- 白井委員 素人が考えると、人数が減れば塾のような感じで、先生がよく面倒を見てくれるようになるのではないか。
- 佐野教育長 それは小学校の低学年までの話であって、競争意識等が無ければ伸びていかない。  
アンケートで様々な意見を聞き参考になったが、時期も含めてどうしていくのかは今後の話しである。  
生徒数が減少すると先生の確保が難しくなる。様々な教科を掛け持ちし

てやることになる。免許外の指導をすることになる。中学で何の教科でもできるという先生はいない。

事務局長

町職員の人事異動について、資料により説明する。  
次回の教育委員会日程について候補日をあげて調整する。

退職者、人事異動対象者によるあいさつ

事務局長

以上をもって3月の教育委員会を終了する。

記事録署名人 井上誠也

記事録署名人 佐野 薫

記事録署名人 大野 孝行